

お米づくり体験学習を通して地域と繋がり、感謝の気持ちを育てよう

▼発生年月日：2024/01/31

▼執筆者名：甲把 理恵

▼センター名：西讃農業改良普及センター

▼部門分類：総括

▼活動分類：食農業教育・食育

▼公開：公開

▼備考：

▼本文

1) 三豊市立下高瀬小学校では、平成7年度から地元有志らによる協力のもと、年間を通じたお米づくり体験学習として、粃播きや田植え、アイガモの放鳥、収穫、三野町「大坊市」での販売を実施しています。

普及センターはその協力機関として、管内の水稻品種の紹介や田植え・収穫作業の指導・助言を行うとともに、平成28年度からは県オリジナル品種の「おいでまい」を教材とし、県産農産物のPRも行っています。

2) 1月31日、今年度の最後の活動として「感謝の集い」が開催され、児童らが体験学習の中で指導・協力いただいた下高瀬子どもすこやかボランティアやJA香川県三野支店、普及センターの方々へ感謝の気持ちを伝えました。

3) はじめに校長先生から、食への感謝とともに活動を支援してくれた地域の方々に対して、お礼のあいさつがありました。また、JA香川県三野支店長からは「今後、農業に関わる機会があれば、積極的に関わってほしいです。」、普及センターからは「楽しかった思い出を大切に、これからも香川県のおいしいお米をたくさん食べてください。」とそれぞれの思いを児童に伝えました。

4) また、下高瀬子どもすこやかボランティアからは「体験のなかでは、楽しいことも大変なことも両方あったと思う。これからの人生では、大変だと思えることがあるかもしれないけれど、楽しいこともあるから、いろいろなことを経験して立派な大人になってください。」と励ましの言葉がかけられました。

最後に、児童から、楽しかった活動を振り返る演劇が披露され、終了後には、お世話になった方々へお礼の手紙と自ら作ったおはぎが手渡されました。

5) 普及センターでは、今後も関係機関や地元小中学校等と連携し、出前授業や農作業体験などを通じて、食の大切さや地域農業への理解を深める取組みを支援します。



演劇（アイガモ放鳥）



演劇（販売）



地域ボランティアの方へお手紙とおはぎの贈答